

様式第3号の2 (用紙 日本産業規格A4縦型)

事業計画 (変更事業計画、実績) 書

(分娩施設名:)

1 帝王切開件数

当該年度の帝王切開実施 (見込) 件数	件
うち帝王切開手当等の支給対象となる帝王切開件数	件

支給対象を限定している場合は、以下に支給対象の条件について記載してください。

[]

2 帝王切開実施体制等

※ 日中と夜間及び予定と緊急といった状況により実施体制等が異なる場合は、該当区分に○印をつけ、個々について記載してください。

【区分: 日中・夜間・予定・緊急・その他 ()】

職種	人数	手当の対象となる帝王切開 (見込) 件数
産科医師	人	
上記9以外の医師 (麻酔科医等)	人	—
助産師	人	—
看護師	人	—
その他職種 ()	人	—
計	人	

【区分: 日中・夜間・予定・緊急・その他 ()】

職種	人数	手当の対象となる帝王切開 (見込) 件数
産科医師	人	
産科医師以外の医師 (麻酔科医等)	人	—
助産師	人	—
看護師	人	—
その他職種 ()	人	—
計	人	

3 帝王切開手当等の単価及び支給状況

区分	帝王切開件数 (A)	配置医師数 (B)	手当単価 (C)	帝王切開手当等支給額 (A×B×C)
計		—	—	

- (注) 1 本補助金の助成対象となるもののみ記載すること。対象とならない産科医師以外の医師 (麻酔科医など) や、助産師等については記載しないこと。
 2 緊急帝王切開又は予定帝王切開、日中又は夜間など、場合によって単価が変わる際は欄を分けること。

様式第3号の2 (用紙 日本産業規格A4縦型)

事業計画 (変更事業計画、実績) 書

1 帝王切開件数

当該年度の帝王切開実施 (見込) 件数	10件
うち帝王切開手当等の支給対象となる帝王切開件数	10件

様式2号の基準額算出に使用します。

昨年度の実績や今年
の取扱い件数を参考
に実数に近い数で少
し多めに記入して下
さい

支給対象を限定している場合は、以下に支給対象の条件について記載してください。

[]

2 帝王切開実施体制等

※ 日中と夜間及び予定と緊急といった状況により
分に○印をつけ、個々について記載してください

実施体制が複数ある場合の例
日中：医師3人
夜間：医師2人

区分に○

【区分：日中・夜間・予定・緊急・その他 ()】

職種	人数	手当の対象となる帝王切開 (見込) 件数
産科医師	3人	7件
上記以外の医師 (麻酔科医等)	○人	—
助産師	○人	—
看護師	○人	—
その他職種 ()	人	—
計	○人	

区分に○

【区分：日中・夜間・予定・緊急・その他 ()】

職種	人数	手当の対象となる帝王切開 (見込) 件数
産科医師	2人	3件
産科医師以外の医師 (麻酔科医等)	○人	—
助産師	○人	—
看護師	○人	—
その他職種 ()	○人	—
計	○人	

3 帝王切開手当等の単価及び支給状況

区分	帝王切開件数 (A)	配置医師数 (B)	手当単価 (C)	帝王切開手当等支給額 (A×B×C)
日中	7件	3人	30,000	630,000
夜間	3件	2人	30,000	180,000
計		—	—	810,000

(注) 1 本補助金の助成対象となるもののみ記載すること。対象とならない産科医師以外の医師 (麻酔科医など) や、助産師等については記載しない

2 緊急帝王切開又は予定帝王切開、日中又は夜間など
わる際は欄を分けること。

様式2号の総事業費の「帝王切開手当加算」欄に転記してください。

